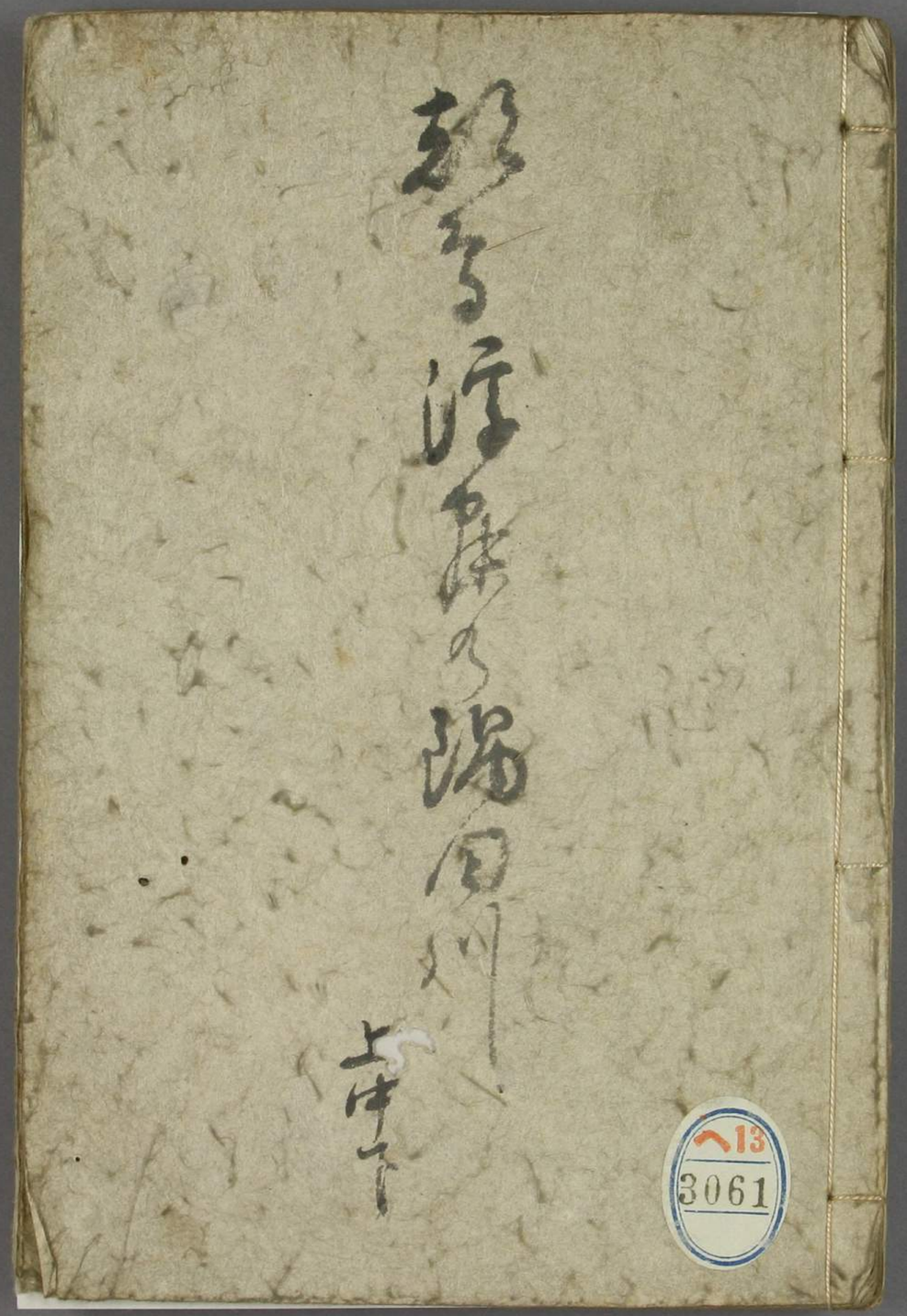

上中下
へ13
3061

三升作

文政十戊新板

國貞画

上

へ13
3061
特
へ13 特
3061

都鳥浮寝之図　西田川
市川三升作　全六冊
歌川國貞画　上之巻
文政十年丁亥春新彫
芝神明前　甘泉堂梓

抑雲雅梅雅の一期物結て往時の人
ども只の世話人口の種にして耶栄枯得喪の
或は潤仏湯七因縁をかたり悪人一時の威を得るといへども
終に天罰を脱れず善人一旦おとろへるといへども子孫多く
栄善悪應報の理あきらかなる事を稱く諸
先生の筆意をかりて婦幼君子の勸めとなるふ
ぜひ故さる似くなるを所をかしく
まる翻案すく亦新らしき物語を備ふる而已

文政十年丁亥春新彫　五柳亭徳升述

白川
水神
水の
隅田川
有馬

雲雀里
本願寺
袖の
郡
太神宮
天満宮

惟房卿の嫡男
松雅丸
柳
藪の
下部
軍助

少将の奥方
錦の前

吉田家長臣
仁科平九郎
盛景
時
川板
意元

少将の
妾
柳の
局

吉田少将
惟房卿
白柏子
野の上の
花子

千那
少将の
二男
梅雅丸

惟

花

松

榊

都鳥
浮寝の
隅田川
中

新多留中之巻

三升作

国貞画

彩板

和泉屋

市兵衛

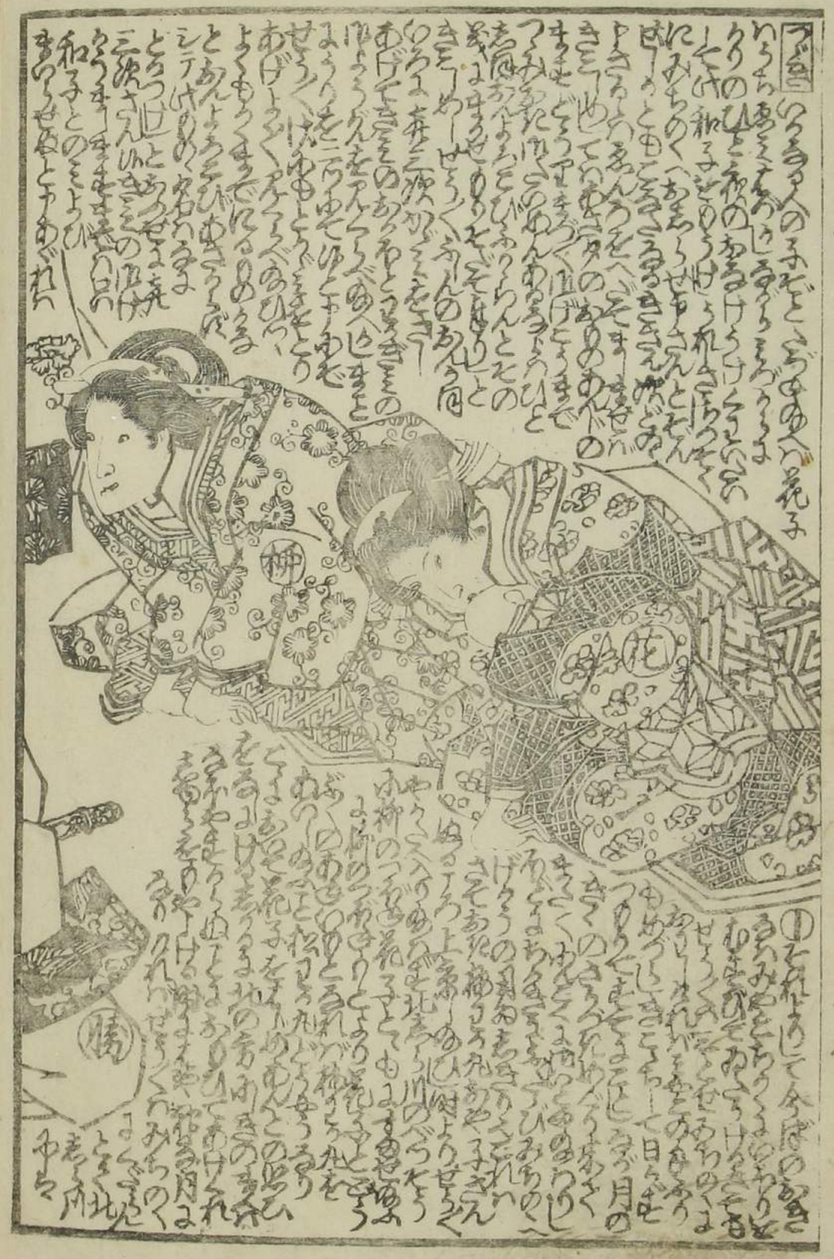
梓

源

柿

松
竹

三外作
國貞画
筆者金川



松

竹

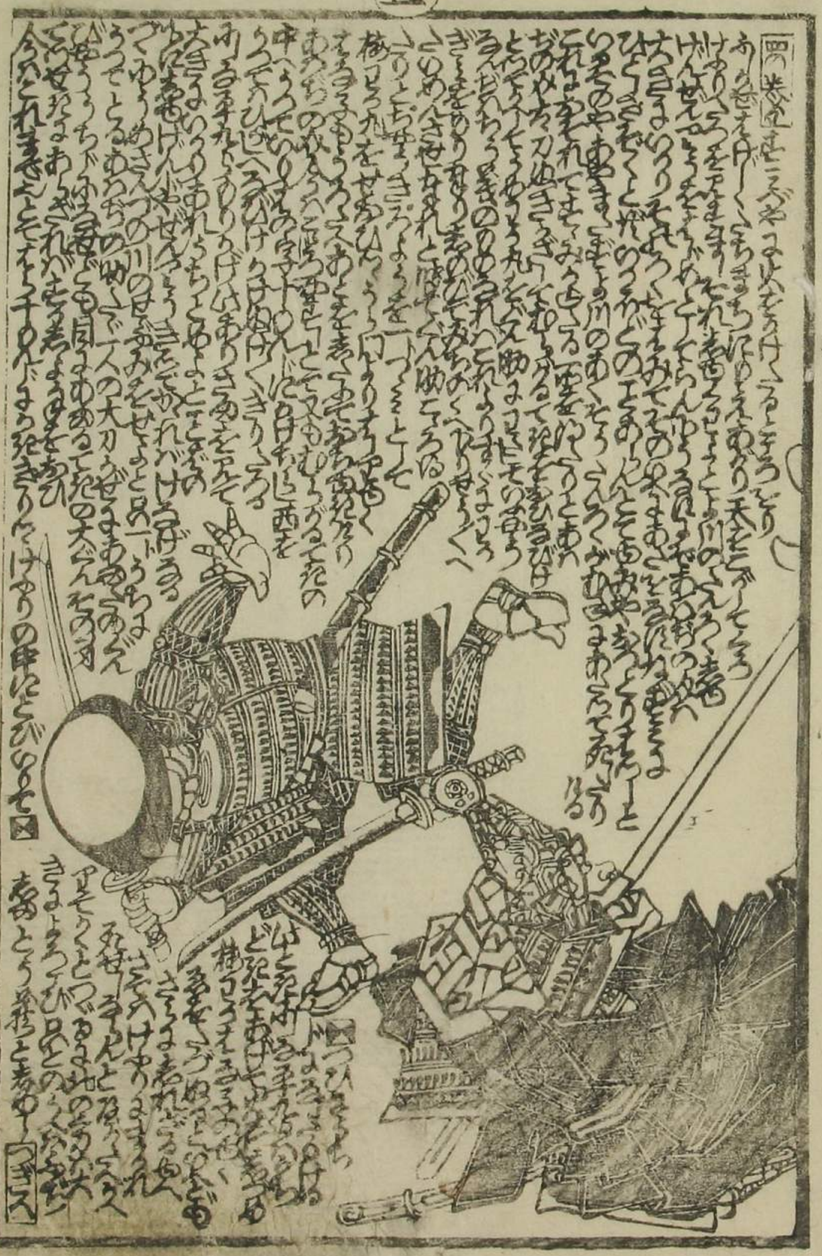
三升作

甘泉堂版

國貞画

下

みやこ　高春
ゆきつり　さんん
三升作　下の書
玉貞画　文吉



五の巻

枡

花

歌川國貞画

市川三升作